

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	栃木県の歴史	栃木県の水土整備の歴史
原始	-7000(縄文時代)			
	-400(縄文時代)			
古墳・飛鳥時代	前1世紀(弥生時代)	・近畿まで稲作が北進する		
	3世紀(弥生時代)	・稲作の北進 本州北端(青森)まで		
	239(3世紀)	・邪馬台国卑弥呼[親魏倭王]の称号を受ける		
	300(4世紀頃)			
	500(6世紀当初)			
	645(大化元年)	・大化の改新		
	646(大化2年)	・班田収授の法を制定		
		・公地公民制を宣言 ・租・庸・調を定める		
	694(持統8年)	・藤原京に遷都		
	701(大宝元年)	・大宝律令		
702(大宝2年)				
奈良時代	710(和銅3年)	・平城京に遷都		
	716(霊亀2年)		・下野国などの高麗人を武蔵国に移し、高麗郡を設置	
	722(養老6年)	・墾田100万町歩の開墾を計画する		
	723(養老7年)	・墾田の開発をすすめ、用益の年限をきめる(三世一身法)		
	741(天平13年)			
	743(天平15年)	・墾田を私財とする事を許す(墾田永世私有令)		
	746(天平18年)			
	757(天平宝字元年)			
	765(天平神護元年)	・寺院以外の墾田開発を禁止		
	770(宝亀元年)		・道鏡を下野国薬師寺別当に任じ配流	
	784(延暦3年)	・長岡京に遷都		
	788(延暦7年)		・東海・東山・板東諸国より軍兵5万人余を多賀城に集結させる	
794(延暦13年)	・平安京に遷都	・坂上田村麻呂、蝦夷征討開始		
821(弘仁12年)	・空海、満濃池を作る			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	栃木県の歴史	栃木県の水土整備の歴史
平安時代	902(延喜2年)	・延喜の荘園整理令		
	927(延長5年)	・『延喜式』完成		
	935(承平5年)		・平将門、伯父平国香と争い、国香を殺害、承平・天慶の乱開始	
	939(天慶2年)		・平将門、常陸・下野・上野国府を攻略、新皇と称し板東国司を任命	
	940(天慶3年)		・藤原秀郷、平貞盛と平将門を破る、将門討伐の功で藤原秀郷は下野・武蔵の国主になる	
	平安時代	・平安中期の耕地面積862,767町		・下野国:耕地30,155町
	1017(寛仁元年)	・藤原道長が太政大臣となる		
	1045(寛徳2年)	・寛徳の荘園整理令		
	1055(天喜3年)			
	1062(康平5年)	・前九年の役平定(安部氏亡ぶ)		
	1069(延久元年)	・延久の荘園整理令		
	1086(応徳3年)	・白河上皇、院政を始める		
	1087(寛治元年)	・後三年の役平定		
	1156(保元元年)	・保元の乱		
1159(平治元年)	・平治の乱			
1167(仁安2年)	・平清盛、太政大臣となる			
鎌倉時代	1183(寿永2年)			
	1185(文治元年)	・守護、地頭を設置		
	1192(建久3年)	・源頼朝、征夷大將軍となる		
	1221(承久3年)	・承久の乱	・承久の乱に際して、幕府の命で足利義氏・小山朝長・結城朝光ら発進上洛する	
	1232(貞永元年)	・北条泰時、関東御成敗式目(貞永式目)制定		
	1274(文永11年)	・文永の役[蒙古襲来]		
	1281(弘安4年)	・弘安の役[蒙古襲来]		
	1297(永仁5年)	・永仁の徳政令発布		
	1333(元弘3年)	・鎌倉幕府滅亡		
	1334(建武元年)	・建武の中興		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	栃木県の歴史	栃木県の水土整備の歴史
室町時代	1336(建武3年)	・後醍醐天皇、吉野に移る(南北朝分裂)		
	1338(延元3年)	・足利尊氏、征夷大将軍となる		
	1368(応安元年)	・足利義満、征夷大将軍となる		
	1392(明德3年)	・南北朝の合一		
	1428(正長元年)	・正長の土一揆		
	1439(永享11年)		・上杉憲実、足利学校に5カ条の条目を定め、漢籍を寄進し、学校を再興する	
	1467(応仁元年)	・応仁の乱起こる		
	1488(長享2年)	・加賀一向一揆		
	室町時代	・室町期の耕地面積854,791町		・下野国:耕地37,460町
	1501(文亀元年)			
	1506(永正3年)			
	1543(天文12年)	・種子島に鉄砲伝来		
1573(天正元年)	・室町幕府滅びる			
安土・桃山時代	1581(天正9年)			
	1582(天正10年)	・本能寺の変 ・太閤検地始まる(～'98)		
	1585(天正13年)	・豊臣秀吉、関白となる		
	1588(天正16年)	・刀狩、封建的身分制、兵農分離		
	1590(天正18年)			
	1596(慶長元年)			
	1597(慶長2年)			
	1598(慶長3年)			・島田開田(足利郡)*5
	1599(慶長4年)			
	1600(慶長5年)	・関ヶ原の戦い	・徳川秀忠、会津討伐で宇都宮に着陣、徳川家康、小山で軍議	
	1601(慶長6年)		・奥平家昌、宇都宮城主となる ・浅野長重、真岡城主となる	
	1602(慶長7年)			
1603(慶長8年)	・徳川家康、征夷大将軍に任命され、江戸幕府を開く			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	栃木県の歴史	栃木県の水土整備の歴史
	1604(慶長9年)			
	1605(慶長10年)			
	1606(慶長11年)			
	1607(慶長12年)			
	1608(慶長13年)			
	1609(慶長14年)			
	1610(慶長15年)			
	1611(慶長16年)			
	1612(慶長17年)			
	1613(慶長18年)			
	1614(慶長19年)	・大阪冬の陣		
	1615(元和元年)	・大阪夏の陣 ・武家諸法度、禁中並公家諸法度を定める		
	1616(元和2年)			
	1617(元和3年)		・日光東照宮完成	
	1618(元和4年)			
	1619(元和5年)			
	1620(元和6年)		・宇都宮領総検地	・逆木用水(河内郡)*5
	1621(元和7年)			
	1622(元和8年)			
	1623(元和9年)			
	1624(寛永元年)			
	1625(寛永2年)			
	1626(寛永3年)			
	1627(寛永4年)			
	1628(寛永5年)			
	1629(寛永6年)			・柳原堰(足利郡)*5
	1630(寛永7年)			
	1631(寛永8年)			
	1632(寛永9年)			
	1633(寛永10年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	栃木県の歴史	栃木県の水土整備の歴史
	1634 (寛永11年)			
	1635 (寛永12年)			
	1636 (寛永13年)			
	1637 (寛永14年)			
	1638 (寛永15年)			
	1639 (寛永16年)	・鎖国令		
	1640 (寛永17年)			
	1641 (寛永18年)			
	1642 (寛永19年)			
	1643 (寛永20年)	・田畑永代売買禁止令		
	1644 (正保元年)			
	1645 (正保2年)			
	1646 (正保3年)		・宇都宮藩、市の堰用水開削 ・幕府代官福村長右衛門、巻川用水開削	
	1647 (正保4年)			
	1648 (慶安元年)			
	1649 (慶安2年)	・地方五役5人組制度		
	1650 (慶安3年)			
	江戸時代前期			・宇都宮藩11万石、古河藩10万石、壬生藩2万石、烏山藩2万石、羽黒藩2万石
	1651 (慶安4年)			
	1652 (承応元年)			
	1653 (承応2年)	・幕府、玉川上水開削を許し、費用を与える		
	1654 (承応3年)			
	1655 (明暦元年)			
	1656 (明暦2年)			・市之堀用水(塩谷郡)*5*6
	1657 (明暦3年)			
	1658 (万治元年)		・幕府代官福村長右衛門により、那須に長島堀・岩崎堀開削	
	1659 (万治2年)			
	1660 (万治3年)			
	1661 (寛文元年)			・寛文年間: 西茂呂溜池(上都賀郡)、七ヶ村堰(足利郡、140町)*5

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	栃木県の歴史	栃木県の水土整備の歴史
	1662(寛文2年)			
	1663(寛文3年)			
	1664(寛文4年)			・渡良瀬川に岡登堰を開設*6
	1665(寛文5年)			
	1666(寛文6年)	・山川掟の発令		
	1667(寛文7年)			
	1668(寛文8年)			
	1669(寛文9年)			
	1670(寛文10年)		・この頃、宇都宮西原十ヶ新田が開発される	
	1671(寛文11年)			・谷頭溜池(上都賀郡)*5*2
	1672(寛文12年)			
	1673(延宝元年)			
	1674(延宝2年)	・分地制限法		
	1675(延宝3年)			
	1676(延宝4年)			
	1677(延宝5年)			
	1678(延宝6年)			
	1679(延宝7年)			
	1680(延宝8年)			
	1681(天和元年)			
	1682(天和2年)			
	1683(天和3年)			
	1684(貞享元年)	・河村瑞賢、淀川下流の治水事業に着手(~'85)		
	1685(貞享2年)			
	1686(貞享3年)			
	1687(貞享4年)	・田畑永代売買禁止を再令する		
	1688(元禄元年)			
	1689(元禄2年)			
	1690(元禄3年)			
	1691(元禄4年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	栃木県の歴史	栃木県の水土整備の歴史
	1692(元禄5年)			
	1693(元禄6年)			
	1694(元禄7年)			
	1695(元禄8年)			
	1696(元禄9年)	・宮崎安貞「農業全書」刊		
	1697(元禄10年)			
	1698(元禄11元年)			
	1699(元禄12年)			
	1700(元禄13年)			
	1701(元禄14年)			
	1702(元禄15年)			
	1703(元禄16年)			
	1704(宝永元年)	・大和川の付替工事開始		
	1705(宝永2年)	・大和川旧河道新田開発		
	1706(宝永3年)			
	1707(宝永4年)	・富士山噴火、宝永山できる		・下溜池・上溜池(下都賀郡)*5*2
	1708(宝永5年)	・貝原益軒『大和本草』		
	1709(宝永6年)	・新井白石を登用する		・韃湖(下都賀郡)*5*2
	1710(宝永7年)			・赤間沼新堀(下都賀郡)*5
	1711(正徳元年)			
	1712(正徳2年)			
	1713(正徳3年)			・雲入堰(稗田村)開設*6
	1714(正徳4年)			
	1715(正徳5年)			
	1716(享保元年)	・徳川吉宗、第8代将軍となる		・享保年間:延島用水開設*6
	1717(享保2年)			
	1718(享保3年)			
	1719(享保4年)			
	1720(享保5年)			
	1721(享保6年)	・目安箱の設置		
	1722(享保7年)	・新田開発の奨励		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	栃木県の歴史	栃木県の水土整備の歴史
江戸時代	1723(享保8年)			
	1724(享保9年)			
	1725(享保10年)			・鬼怒川で吉田用水に着工(～'26)*6
	1726(享保11年)	・新田検地条目の制定		・鬼怒川筋で江村沼、砂沼、大宝沼の三溜井干拓用水として江連用水古溝を開設*6
	1727(享保12年)			
	1728(享保13年)			
	1729(享保14年)			
	1730(享保15年)			
	1731(享保16年)			
	1732(享保17年)	・山陽・南海・西海・畿内蝗害のため大飢饉		
	1733(享保18年)			
	1734(享保19年)			
	1735(享保20年)	・幕府、米価下落を防ぐため最低価格を決める		
	1736(元文元年)			
	1737(元文2年)			
	1738(元文3年)			
	1739(元文4年)			
	1740(元文5年)			
	1741(寛保元年)			
	1742(寛保2年)			
	1743(寛保3年)			
	1744(延享元年)			
	1745(延享2年)			
	1746(延享3年)			
	1747(延享4年)			
1748(寛延元年)			・市の堀用水で大普請*6	
1749(寛延2年)	・定免制を全面的に施行			
1750(寛延3年)				
	江戸時代中頃	・江戸中期の耕地面積:田1,695,923町、畑1,417,074町、計3,013,546町		・下野国:田35,580町、畑73,003町、計108,583町



時代	西暦(和暦)	全国の歴史	栃木県の歴史	栃木県の水土整備の歴史
	1751 (宝暦元年)			
	1752 (宝暦2年)			
	1753 (宝暦3年)			
	1754 (宝暦4年)			・逆木用水を開設*6
	1755 (宝暦5年)	・木曾川の治水工事完成		
	1756 (宝暦6年)			
	1757 (宝暦7年)			
	1758 (宝暦8年)			
	1759 (宝暦9年)			
	1760 (宝暦10年)			
	1761 (宝暦11年)			
	1762 (宝暦12年)			
	1763 (宝暦13年)			・穴沢用水を開設*6
	1764 (明和元年)			
	1765 (明和2年)			
	1766 (明和3年)			
	1767 (明和4年)			
	1768 (明和5年)			
	1769 (明和6年)			
	1770 (明和7年)			
	1771 (明和8年)		・那須郡穴沢用水大改修	
	1772 (安永元年)	・田沼意次、老中となる		
	1773 (安永2年)			
	1774 (安永3年)			
	1775 (安永4年)			
	1776 (安永5年)			
	1777 (安永6年)			
	1778 (安永7年)			
	1779 (安永8年)			
	1780 (安永9年)			
	1781 (天明元年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	栃木県の歴史	栃木県の水土整備の歴史
	1782(天明2年)	・下総印旛沼干拓に着手 ・瀬戸内・九州など大凶荒		
	1783(天明3年)	・浅間山大噴火 ・冷害のため諸国大飢饉	・浅間山噴火・冷夏で凶作	
	1784(天明4年)	・この春夏諸国飢饉、農民流亡のため農村荒廃		
	1785(天明5年)	・奥羽飢饉		・大前葉鹿用水の取入口変更(足利郡、灌漑面積69町)*5
	1786(天明6年)	・ト総手質沼開発に着手するも、間もなく中止 ・老中田沼意次失脚 ・諸国大凶作		
	1787(天明7年)	・松平定信、老中就任 ・寛政の改革が始まる		
	1788(天明8年)			
	1789(寛政元年)	・困米の制を定める		・壬生水利開発に着工(小倉川を分流し藪川に導水、～'90)*6
	1790(寛政2年)			
	1791(寛政3年)			
	1792(寛政4年)			
	1793(寛政5年)			・熊倉分・荒町開墾・東郷開墾(芳賀郡)*5
	1794(寛政6年)			
	1795(寛政7年)			
	1796(寛政8年)			
	1797(寛政9年)			
	1798(寛政10年)			・原町新田(芳賀郡)*5 ・代官岸本武太夫、芳賀郡大内村大字原町で新田開発*6
	1799(寛政11年)			
	1800(寛政12年)	・伊能忠敬、蝦夷地を測量する		
	1801(享和元年)			
	1802(享和2年)			
	1803(享和3年)			
	1804(文化元年)		・山口鉄五郎、伊王野三蔵川用水を修復	
	1805(文化2年)			
	1806(文化3年)			・稲荷沢溜池(芳賀郡)*5

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	栃木県の歴史	栃木県の水土整備の歴史
	1807(文化4年)			・裁許堰(下都賀郡)*5
	1808(文化5年)			・篠入溜(芳賀郡)*2*5*6
	1809(文化6年)			
	1810(文化7年)			
	1811(文化8年)			
	1812(文化9年)			・烏山用水の開削(~'13)*6
	1813(文化10年)			
	1814(文化11年)			
	1815(文化12年)			・今市森支用水を開削(~'18)*6
	1816(文化13年)			
	1817(文化14年)	『農具便利論』		
	1818(文政元年)			・文政年間:赤羽新田(芳賀郡)*5 ・森支用水(四ヶ村用水)(上都賀郡、6町)*5
	1819(文政2年)			・上鷲谷・下鷲谷開墾(芳賀郡)*5
	1820(文政3年)			・松野用水を着工*6
	1821(文政4年)	・伊能忠敬、『大日本沿海実測地図』完成		
	1822(文政5年)			
	1823(文政6年)		・二宮金次郎、宇都宮領桜町陣屋で仕法開始	
	1824(文政7年)			
	1825(文政8年)		・烏山藩、林泉右衛門に命じ那珂川から通水、日野町に水田を開発	・烏山藩主大久保忠成、烏山町、日野町の水田を開発(~'29)*6
	1826(文政9年)			・烏山町用水(那須郡、灌漑面積20町)*5
	1827(文政10年)			・横田の大堰・三の宮堰・大前の堰(芳賀郡)*5 ・二宮尊徳、五行川の水を堰入れ、穴川用水を改築*6
	1828(文政11年)			
	1829(文政12年)			・沼野井開田(那須郡)*5
	1830(天保元年)			
	1831(天保2年)	・諸国石高を調査する		・二宮尊徳、第1回桜町仕法完了*6
	1832(天保3年)			
	1833(天保4年)	・この冬、風水害により奥羽・関東飢饉		
	1834(天保5年)	・諸国飢饉		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	栃木県の歴史	栃木県の水土整備の歴史
	1835(天保6年)		・二宮金次郎、茂木藩の改革を指導	
	1836(天保7年)	・諸国飢饉、奥羽地方最も甚だしく死者10万人に及ぶ	・二宮金次郎、烏山藩を援助	
	1837(天保8年)	・大塩平八郎の乱 ・この春、諸国飢饉、餓死多数		・境村用水を着工(～'39)*6 ・弥吾河原(那須郡、灌漑面積20町、～'40)*5
	1838(天保9年)			
	1839(天保10年)	・この年、奥羽飢饉、死者・流民多数		
	1840(天保11年)			
	1841(天保12年)	・天保改革はじまる	・元米沢藩士加瀬友助、那須西原の開拓を計画、大田原藩これを許可す	・米沢藩士加瀬友助、那須開拓の許可受く(25,000町歩の開発)*6
	1842(天保13年)			
	1843(天保14年)	・印旛沼開墾開始		・真岡開墾(芳賀郡)*5
	1844(弘化元年)	・印旛沼開墾中止		・弘化年間:御釜沼・上三川用水・川端用水・桑原用水(下都賀郡)*5
	1845(弘化2年)			
	1846(弘化3年)			
	1847(弘化4年)	・信州大地震(善光寺地震)		・八切道堰(芳賀郡)*5
	1848(嘉永元年)			・嘉永年間:二宮堀(上都賀郡)*5
	1849(嘉永2年)			・紙屋堀(上都賀郡、灌漑面積37町)*5
	1850(嘉永3年)			・吉沢用水を開設*6
	1851(嘉永4年)			
	1852(嘉永5年)			・中新堀(上都賀郡、灌漑面積15町)*5 ・徳次郎用水改築(河内郡)*5
	1853(嘉永6年)	・ペリ―浦賀来航	・二宮金次郎、日光領仕法開始	・板橋堀(上都賀郡、灌漑面積10町)*5 ・今市村用水堀(上都賀郡)*5 ・文挾用水着工(～'64) ・小林、塩野室、沓田の各用水着工(～'62)*6
	1854(安政元年)	・日米和親条約		・日光堀・権現塚新堀(上都賀郡)*5 ・安政年間:新堀(河内郡、100町)、御仕法田(塩谷郡)*5
	1855(安政2年)	・江戸大地震(安政の大地震)		・安政堀(平作堀)(塩谷郡、35町)*5 ・今市宿用水着工(～'56)*6
	1856(安政3年)			・船生安政堀(平作堀完成)*6
	1857(安政4年)			
	1858(安政5年)	・日米修好通商条約		・物部村荒地復旧(芳賀郡)*5

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	栃木県の歴史	栃木県の水土整備の歴史
	1859(安政6年)		・宝木用水堀の工事開始	・宝木用水(河内郡、70余町)*5*6
	1860(万延元年)	・桜田門外の変		
	1861(文久元年)			
	1862(文久2年)			・琵琶池(那須郡)*2*5
	1863(文久3年)			
	1864(元治元年)	・禁門の変、第1次長州征伐		
	1865(慶応元年)			
	1866(慶応2年)	・薩長同盟、第2次長州征伐		・中館広之助、堀訓川を開削(~'71)*6
	1867(慶応3年)	・大政奉還、王政復古宣言		・吉良堀(上都賀郡)*5
	1868(慶応4年)	・鳥羽・伏見の戦い(戊辰戦争起こる)		
	1868(明治元年)	・明治維新		
	1869(明治2年)	・東京遷都 ・版籍奉還 ・開拓使設置		・利根川附寄州開墾*6 ・那須野開墾に着手*6
	1870(明治3年)	・勸農局(翌年、開墾局に改称)を設ける		
	1871(明治4年)	・戸籍法を定める ・廃藩置県 ・田畑勝手作許可		
	1872(明治5年)	・田畑売買禁止の解除		
	1873(明治6年)	・徴兵令・地租改正条例を公布 ・内務省設置		
	1874(明治7年)	・北海道屯田兵制度を設ける		
	1875(明治8年)			
	1876(明治9年)			
	1877(明治10年)	・地租軽減(地価の3%から2.5%に) ・西南戦争		
	1878(明治11年)			
	1879(明治12年)	・国営安積疏水猪苗代湖開墾事業に着工(~'82)		
	1880(明治13年)	・区町村会法制定施行	・印南文作・矢板武ら、那須開拓社組織	
	1881(明治14年)	・農商務省設置		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	栃木県の歴史	栃木県の水土整備の歴史
明治時代	1861(明治14年)	・大日本農会創立		
	1882(明治15年)	・日本銀行開業		・那須野原開拓の飲料水路開削*2
	1883(明治16年)			
	1884(明治17年)			・那須野原開田の那須用水路*2
	1885(明治18年)	・太政官制を廃止(内閣制度を樹立)	・東北本線、大宮・宇都宮間開通 ・那須疏水通水式	・那須疏水工事着工*6
	1886(明治19年)		・東北本線、宇都宮・黒磯間開通	
	1887(明治20年)	・石川県石川郡上安原村で石川式区画整理を開始		
	1888(明治21年)	・市制及び町村制を公布		
	1889(明治22年)	・大日本帝国憲法発布 ・東海道本線全通		
	1890(明治23年)	・水利組合条例・公有水面埋立法公布		
	1891(明治24年)	・濃尾大地震	・田中正造、第2回帝国議会で鉱毒事件に関する質問書提出	
	1892(明治25年)			
			・耕地面積、田2,805,212ha、畑2,307,956ha、計5,113,168ha	・田56,870ha、畑58,041ha、計114,911ha
	1893(明治26年)			
	1894(明治27年)	・日清戦争(～'95)		
	1895(明治28年)			
	1896(明治29年)	・河川法制定	・渡良瀬川沿岸大洪水、鉱毒被害を増す	
	1897(明治30年)	・砂防法・森林法を公布		
	1898(明治31年)			
	1899(明治32年)	・耕地整理法公布		
1900(明治33年)				
1901(明治34年)		・田中正造、衆議院議員を辞職 ・田中正造、天皇に直訴	・耕地整理事業に県補助金交付始まる*6	
1902(明治35年)	・日英同盟成立 ・北海道土巧組合法公布			
1903(明治36年)				
1904(明治37年)	・日露戦争(～'05)			
1905(明治38年)	・耕地整理法改正(灌漑排水の追加)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	栃木県の歴史	栃木県の水土整備の歴史
	1906(明治39年)			
	1907(明治40年)	・耕地整理研究会(後の農業土木学会)発足		
	1908(明治41年)			
	1909(明治42年)	・耕地整理法改正(開墾・地目変換を認め、耕地整理組合を法人化)		
	1910(明治43年)	・韓国併合		
	1911(明治44年)			
大正時代	1912(大正元年)			・舟生用水路と取水口水門改修*2
	1913(大正2年)	・北海道大冷害		
	1914(大正3年)	・第一次世界大戦勃発 ・耕地整理法改正(目的に埋立・干拓を追加)		
	1915(大正4年)			
	1916(大正5年)			
	1917(大正6年)	・米価高騰		
	1918(大正7年)	・富山県下で米騒動、以後1道3府32県に波及		
	1919(大正8年)	・都市計画法公布		
	1920(大正9年)	・第1回国勢調査実施(総人口7698万人、内地5596万人)		
	1921(大正10年)	・米穀法公布		
	1922(大正11年)		・宇都宮高等農林学校創設(現宇都宮大学農学部)	
	1923(大正12年)	・関東大震災		
	1924(大正13年)			
1925(大正14年)	・普通選挙法(男子)公布			
1926(大正15年)	・自作農創設維持補助規則制定公布			
	1926(昭和元年)			
	1927(昭和2年)	・金融恐慌起こり、休業銀行続出 ・丹後地震		
	1928(昭和3年)	・普通選挙による最初の衆議院議員総選挙		
	1929(昭和4年)	・世界的経済大恐慌 ・農業土木学会(後の農業農村工学会)創立		
	1930(昭和5年)	・昭和恐慌		・小倉川沿岸用水改良事業着工(～'32)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	栃木県の歴史	栃木県の水土整備の歴史
	1930 (昭和5年)	・農業恐慌、農村の危機深刻化する		・生井村外3ヶ村用排水改良事業着工(～'37)
	1931 (昭和6年)	・満州事変起こる ・北海道、東北に冷害、未曾有の大凶作		・界村外1町3ヶ村排水幹線改良事業着工(～'37)
	1932 (昭和7年)	・第1次上海事変 ・5.15事件 ・時局匡救耕地関係農業土木事業発足		・小山町外5ヶ村用水幹線改良事業着工(～'34) ・那珂川用水幹線改良工事着工(～'35) ・船生用水幹線改良事業着工(～'35)
	1933 (昭和8年)	・国際連盟脱退 ・米穀統制法公布 ・三陸地震大津波		・草川用水幹線改良事業着工(～'34) ・九郷半用水幹線改良事業着工(～'34)
	1934 (昭和9年)	・満州国帝政実施(皇帝溥儀) ・室戸台風		・御用川用水幹線改良事業着工(～'36)
	1935 (昭和10年)			・三栗谷用水幹線改良事業着工(～'39)
	1936 (昭和11年)	・2.26事件		・豊田穂積九か字用水幹線改良事業着工(～'39)
	1937 (昭和12年)	・廬溝橋事件(日中戦争開始)		・古用水幹線改良事業着工(～'39) ・西方用水東部幹線改良事業着工(～'40)
	1938 (昭和13年)	・国家総動員法公布 ・農地調整法公布		・山田堰用水幹線改良事業着工(～'41) ・市の堀用水幹線改良事業着工(～'42)
	1939 (昭和14年)	・第2次世界大戦はじまる		・三栗谷用水下流部改良事業着工(～'40)
	1940 (昭和15年)	・米穀管理規則により統制		・桑村大沼溜用水改良事業着工(～'43) ・逆木用水幹線改良事業着工(～'43)
	1941 (昭和16年)	・農地開発法公布、農地開発営団設立 ・太平洋戦争開始		・三栗谷排水幹線改良事業着工(～'45)
	1942 (昭和17年)	・食糧管理法公布(供出配給強化)		・蛇尾川右岸用水幹線改良事業着工(～'46) ・幸の湖下流用水改良事業(～'43) ・市の堀下流用水改良事業着工(～'43)
	1943 (昭和18年)			・桑村大沼溜用水改良第2期事業着工(～'43)
	1944 (昭和19年)			・市の堀用水改良事業着工(～'44)
	1945 (昭和20年)	・広島、長崎に原爆投下 ・ポツダム宣言受諾、終戦 ・緊急開拓事業実施要領制定 ・農地改革 ・自作農創設特別措置法制定 ・農地調整法改正	・宇都宮空襲	・玉生大宮用水幹線改良事業着工(～'47) ・松川排水改良事業着工(～'46)  ・国営那須農地開発事業着工(～'55)※ ・宝木開墾建設事業着工(～'46) ・金丸開墾建設事業着工(～'47)



時代	西暦(和暦)	全国の歴史	栃木県の歴史	栃木県の水土整備の歴史
	1946(昭和21年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方農地事務局設置</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>戦場ヶ原開墾建設事業着工(～'47)</li> <li>黒磯開墾建設事業着工(～'49)</li> <li>壬生開墾建設事業着工(～'49)</li> <li>民研金丸開墾建設事業着工(～'50)</li> <li>高林開墾建設事業着工(～'54)</li> <li>那須野ヶ原開墾建設事業着工(～'64):</li> </ul>
	1947(昭和22年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本国憲法施行</li> <li>農業協同組合法公布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャスリン台風襲来</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>南赤塚開墾建設事業着工(～'47)</li> <li>駒生開墾建設事業着工(～'50)</li> <li>安沢開拓建設事業着工(～'48)</li> <li>横倉開墾建設事業着工(～'49)</li> <li>大野原開墾建設事業着工(～'55)</li> <li>松川(第2期)排水改良事業着工(～'47)</li> <li>関谷開墾建設事業着工(～'60)</li> </ul>
	1948(昭和23年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設省設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイオン台風襲う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>渡良瀬川右岸用水改良事業着工(～'50)</li> <li>大宮村外1ヶ村用排水改良事業着工(～'50)</li> <li>富田村外2ヶ村排水改良事業着工(～'50)</li> <li>藤岡町外3ヶ村排水改良事業着工(～'49)</li> <li>白久開墾建設事業着工(～'50)</li> </ul>
	1949(昭和24年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地改良法公布</li> <li>ドッジ勧告による均衡予算実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>中島開墾建設事業着工(～'49)</li> <li>富岡武子開墾建設事業着工(～'50)</li> <li>与良川沿岸排水改良事業着工(～'52)</li> <li>豊田,穂積用水改良事業着工(～'52)</li> <li>高原開墾建設事業着工(～'60)</li> </ul>
	1950(昭和25年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝鮮戦争勃発</li> <li>国土総合開発法公布</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>雀宮開墾建設事業着工(～'50)</li> <li>古賀志開墾建設事業着工(～'54)</li> <li>弓張開墾建設事業着工(～'59)</li> <li>下板橋開墾建設事業着工(～'52)</li> <li>大室森友開墾建設事業着工(～'53)</li> <li>沼尻開墾建設事業着工(～'58)</li> </ul>
	1951(昭和26年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>積雪寒冷地単作地帯振興臨時措置法公布</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>小倉堰用水改良事業着工(～'53)</li> <li>今市用水改良事業着工(～'53)</li> <li>佐野開墾建設事業着工(～'51)</li> <li>守子坂開墾建設事業着工(～'55)</li> <li>萱場開墾建設事業着工(～'56)</li> </ul>

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	栃木県の歴史	栃木県の水土整備の歴史
昭和時代	1952(昭和27年)	・農地法公布		<ul style="list-style-type: none"> <li>・横根山開墾建設事業着工(～'58)</li> <li>・吾妻排水改良事業着工(～'55)</li> <li>・越名沼干拓事業着工(～'64)</li> <li>・上の原開墾建設事業着工(～'53)</li> <li>・土沢開墾建設事業着工(～'55)</li> <li>・上江原(穂積)(～'58)</li> <li>・上江川開墾建設事業着工(～'57)</li> </ul>
	1953(昭和28年)	・北九州及び和歌山県に大水害		<ul style="list-style-type: none"> <li>・塩谷南部排水改良事業着工(～'60)</li> <li>・柳原用水改良事業着工(～'60)</li> <li>・田沼赤見畑地かんがい事業着工(～'59)</li> </ul>
	1954(昭和29年)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・穴川沿岸山前用排水改良事業着工(～'64)</li> <li>・篠井開墾建設事業着工(～'59)</li> <li>・湯津上開墾建設事業着工(～'61)</li> </ul>
	1955(昭和30年)	・愛知用水公団、農地開発機械公団設立		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山市外2町2ヶ村用水改良事業着工(～'69)</li> </ul>
	1956(昭和31年)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・五十里ダム建設</li> </ul>
	1957(昭和32年)	・八郎潟干拓事業開始		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国営鬼怒川中部農業水利事業着工(～'66)※</li> <li>・西の原用水改良事業着工(～'73)</li> </ul>
	1958(昭和33年)			
	1959(昭和34年)	・伊勢湾台風		
	1960(昭和35年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所得倍増計画</li> <li>・食糧増産対策事業から農業基盤整備事業に名称変え</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・三栗谷用水改良事業着工(～'67)</li> <li>・見晴台開墾建設事業着工(～'60)</li> <li>・那須大島開墾建設事業着工(～'62)</li> </ul>
	1961(昭和36年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業基本法制定</li> <li>・水資源開発公団法公布(設立は'62)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・給分用水改良事業着工(～'68)</li> </ul>
	1961(昭和36年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耕地面積、田3,414,000ha、畑2,719,000ha、計6,136,000ha</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・田89,500ha、畑61,800ha、計151,300ha</li> </ul>
	1962(昭和37年)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・美田東部用水改良事業着工(～'68)</li> </ul>
	1963(昭和38年)	・団体営圃場整備事業の創設		<ul style="list-style-type: none"> <li>・鬼怒川中部用水改良事業着工(～'72)</li> </ul>
	1964(昭和39年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京オリンピック</li> <li>・八郎潟大潟村誕生</li> <li>・改正河川法公布</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小白井用水改良事業着工(～'69)</li> <li>・給分ほ場整備事業着工(県下第1号、～'71)</li> </ul>
	1965(昭和40年)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・国営鬼怒川南部農業水利事業着工(～'75)※</li> <li>・鬼怒川南部(一次)用水改良事業着工(～'71)</li> </ul>

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	栃木県の歴史	栃木県の水土整備の歴史
	1966(昭和41年)	・土地改良長期計画(1次)		
	1967(昭和42年)	・公害対策基本法公布		・国営那須野原農地開発事業着工(～'94)※
	1968(昭和43年)			・鬼怒川南部(二次)用水改良事業着工(～'71) ・葉師寺台畑地かんがい事業着工(～'71)
	1969(昭和44年)	・米の生産制限始まる(開田抑制措置) ・農業振興地域の整備に関する法律公布 ・農道舗装事業の創設		
	1970(昭和45年)			・大岩藤用水改良事業着工(～'80) ・大田原広域農道事業着工(県下第1号、～'80)
	1971(昭和46年)	・政府米の買入制限導入 ・沖縄返還 ・環境庁発足		・国営渡良瀬川沿岸農業水利事業着工(～'84)※
	1972(昭和47年)	・土地改良法改正 ・農村基盤総合整備パイロット事業の創設		
	1973(昭和48年)	・第一次石油ショック ・土地改良長期計画(2次)		・深山ダム完成※ ・板室ダム完成※ ・佐野用水改良事業着工
	1974(昭和49年)	・国土利用長期計画法公布 ・国土庁発足		・国営塩那台地農地開発事業着工(～'92)※ ・市の堀用水改良事業着工(～'77)
	1975(昭和50年)			・新荒川用水改良事業着工(～'79) ・小倉堰施設整備事業(～'80)
	1976(昭和51年)	・土地改良法改正		・見春台畑地帯総合土地改良事業着工(～'82)
	1977(昭和52年)			・大郷戸用水改良事業着工(～'86)
	1978(昭和53年)	・農林省、農林水産省に省名変更		・国営鬼怒中央農業水利事業着工(～'95)※ ・矢の目用水改良事業着工
	1979(昭和54年)	・第二次石油ショック ・国営農地防災排水事業の創設		・塩田用水改良事業着工 ・与良川用水改良工事着工
	1980(昭和55年)			
	1981(昭和56年)	・食糧管理法の改正		・行沢用水改良事業着工
	1982(昭和57年)		・東北新幹線開通	・市の堀Ⅱ期用水改良事業着工
	1983(昭和58年)	・土地改良長期計画(3次) ・日本海中部地震		・大室用水改良事業着工

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	栃木県の歴史	栃木県の水土整備の歴史
	1984(昭和59年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業振興地域の整備に関する法律と土地改良法の改正</li> <li>・118品目の関税引き下げなど対外経済対策を決定</li> </ul>		
	1985(昭和60年)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・鬼怒中央用水改良事業着工</li> <li>・長久保用水改良事業着工</li> <li>・野木畑地帯総合土地改良事業着工</li> </ul>
	1986(昭和61年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・21世紀へ向けての農政の基本方向</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小白井用水改良事業着工</li> <li>・界排水改良事業着工</li> </ul>
	1987(昭和62年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水田農業確立対策決定</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国営芳賀台地農業水利事業着工(～'02)※</li> </ul>
	1988(昭和63年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日米牛肉オレンジ問題、GATTでの紛争解決へ</li> <li>・青函トンネル、瀬戸大橋開通</li> </ul>		
	平成時代	1989(平成元年)		
1990(平成2年)				
1991(平成3年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業農村整備事業と事業名変わる</li> </ul>		
1992(平成4年)				
1993(平成5年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境基本法案決定</li> <li>・北日本中心に大冷害、作況指数74、冷害対策として米の緊急輸入</li> </ul>		
1994(平成6年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウルグアイ・ラウンド農業合意関連対策大綱を決定</li> </ul>		
1995(平成7年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・阪神・淡路大震災</li> </ul>		
1996(平成8年)				
1997(平成9年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境影響評価法(環境アセス法)公布</li> </ul>		
1998(平成10年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央省庁等改革基本法成立</li> </ul>		
1999(平成11年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・食料・農業・農村基本法成立</li> </ul>		
2000(平成12年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・食料・農業・農村基本計画閣議決定</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国営渡良瀬川中央農地防災事業着工(～'10)※</li> <li>・塩田調整池完成※</li> </ul>
2001(平成13年)				
2002(平成14年)				<ul style="list-style-type: none"> <li>・菅又調整池完成※</li> </ul>
2003(平成15年)				
2004(平成16年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中越地震</li> </ul>			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	栃木県の歴史	栃木県の水土整備の歴史
	2005(平成17年)			
		・耕地面積、2,556,000ha、畑2,136,000ha、計4,692,000ha		・田102,200ha、畑27,900ha、計130,100ha
	2006(平成18年)			
	2007(平成19年)	・中越沖地震		
	2008(平成20年)	・岩手・宮城内陸地震		
	2009(平成21年)			
	2010(平成22年)			
	2011(平成23年)	・東日本大震災 3.11 東北地方太平洋沖地震(死者・不明者18,617人(H24.11.14警察庁)、津波による農地の流失・冠水等被害推定面積23,600ha(H23.3.29農林水産省))		
	2012(平成24年)			
	2013(平成25年)			

#### <参考文献>

- \*1 「疏水百選」(2006年)(全国土地改良事業団体連合会)
- \*2 「日本水利施設進展の研究」(1958年)(牧 隆泰著、土木雑誌社)
- \*3 「明治前日本土木史」(1956年)(日本学術振興会、日本学士院日本科学史刊行会)
- \*4 「農業土木史」(1979年)((社)農業土木学会)
- \*5 「明治以前日本土木史」(1936年)(土木学会編、岩波書店)
- \*6 「利根川水系農業水利誌」(1987年)(農林水産省関東農政局利根川水系農業水利調査事務所編集、(社)農業土木学会発行)
- ※ 「各地方農政局ホームページ」等より抜粋

なお、「水土整備の歴史」欄で無印の事業等は「栃木県土地改良史」(1979)、「栃木県土地改良史(増補版)」(1989年)より抜粋  
また、栃木県の歴史は「栃木県の歴史」(1998年)(山川出版社)より抜粋